

令和元年度グローバル教養海外実践（中国・マカオ）

隣国中国の今を自分の目で見て、「旧国境」を歩いて渡ろう！

訪問日程：令和2年2月29日（土）～3月5日（木） 6日間

訪問場所：中華人民共和国（広州・マカオ）

協力機関：暨南大学、マカオ大学

参加費用：約9万円（為替動向等により変動あり）（4万円助成利用の場合、実質約5万円）

募集定員：10名（先着申込順、最少催行5名）

募集開始：令和元年10月24日（木）0:00

募集締切：令和元年10月28日（月）17:00 ※参加費払込期限11月8日（金）

引率教員：中西知子（国際交流機構）（予定）



暨南大学日本語学科での交流



マカオ大学学生・教員とのフィールドスタディ

【プログラムの特徴】

- ◆ 日系企業の訪問で、中国経済の急速な発展と現状を学ぶ。
- ◆ 現地の大学生との交流を通じて、英語と中国語の両方に触れる絶好のチャンス！
- ◆ 「華僑の故郷」と「中国華南地域の経済発展」をキーワードに近代以来の中国の多文化共生（多民族、多宗教、多国籍）を学ぶ。
- ◆ 暨南大学の学生やマカオの学生と交流し、自らテーマを見つけスタディツアーを企画・実施することによって、海外での適応能力を磨く。
- ◆ 歩いて旧国境を渡り、中国とマカオをめぐる植民地時代の歴史と、特別行政区としての今後の流れを考察する。

【事前研修・帰国報告会】

- ◆ 事前研修：令和元年12月～令和2年2月間に2回程度実施予定
- ◆ 帰国報告会：令和2年3月下旬か4月上旬に実施予定

日程案

(現時点での予定。変更の可能性あり)

1	2月29日(土)	関空発-広州着 暨南大学博物館の訪問 暨南大学学生との交流・夕食、スタディツアーの打ち合わせ
2	3月1日(日)	広州旧市街にて暨南大学学生とのスタディツアー 暨南大学本部キャンパスの施設見学
3	3月2日(月)	暨南大学南キャンパスの訪問 日本語学科の講義に参加、日本語を学ぶ学生と交流 日本についての日本語プレゼンテーション実施 暨南大学国際学部の学生との英語でのディスカッションとキャンパスツアー
4	3月3日(火)	広州の日系企業を訪問 広州からマカオへ電車移動 マカオ大学学生との交流 日本についての英語プレゼンテーション実施。マカオ泊
5	3月4日(水)	マカオ大学学生との市内散策 英語での講義の受講やディスカッション(予定)。マカオ泊
6	3月5日(木)	マカオから珠海経由で広州へ 広州発-関空着

※航空運賃や為替レートの変動、参加者人数等により研修内容等一部変更となる場合がある。

※自宅の所在地によって、集合前や解散後の宿泊が必要な場合は各自で手配。

※申込金支払以降、キャンセル料が発生する。プログラムに含まれない食事代等は個人負担。

※参加助成費(4万円)は、帰国後2週間以内に国際交流機構(GLEP担当)へ申請すること。



マカオのIR事業を視察